

競技注意事項

競技参加者・引率者は、大会の1週間前から健康チェックシートで健康状態等を毎日記録し体調管理すること。健康チェックシートの原本については、個人情報取り扱いに注意しながら、代表者が保存期間（1か月程度）を定めて保存しておくこと。大会本部から提出を求められたときには速やかに提出すること。（様式は沖縄陸協ホームページからダウンロードして使用してください）

1. 本大会は、2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに競技注意事項により実施する。

- ① 室内練習場はウォーミングアップ・控え場所等での使用を禁止する。
- ② 招集方法は、招集時間時刻まで競技者自分でスタートリストに○を付けて点呼完了とする。○が付いていない場合は棄権と判断する。
- ③ トラック競技に出場する競技者の腰ナンバーは、召集場所での点呼時にテーブルの上に用意してあるので各自で取りに行く。返却は、ゴール後に自分で腰ナンバーを外し回収かごに入れる。
※手書きのアスリートビブスは使用できません。
- ④ 競技者待機方法は、競技10分～15分前まで集合する。（フィールド競技は練習時間等があるのでプログラムに示された時間までに集合する）審判の指示、出場確認をうける。
- ⑤ 競技終了後は、審判の指示により速やかに退場する。
- ⑪ 競技開始前競技終了後は、各自感染対策を行う。
- ⑫ 記録速報掲示はしません。当日QRコードを案内します。
- ⑬ ゴミは、全て持ち帰る。
- ⑭ 大切な連絡は放送をするので、しっかり聞き対応する。

2. 競技について

- (1) 事故防止のため短距離走では、ゴール後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (2) トラック競技のスタート時、他の競技者の邪魔になるような声を発してはならない。
- (3) 欠場者のコースはそのままあける。
- (4) 小中学生の走幅跳はサブトラックで実施する。
- (5) 一般男子の走幅跳・三段跳は、各組のベスト8で残り3回の試技を行う。

3. 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使わなければならない。但し、やり及び棒高跳用ポールは検定の上個人所有物の使用を認める。個人のやりは競技終了後返却する。

検定場所は、決勝線付近の役員待機場所前とする。

(2) 跳躍、投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。

4. 競技用スパイクピンについて

本競技場は全天候舗装であり、スパイクピンの長さは9mm以下とする。
走高跳およびやり投の場合は、12mmを超えてはならない。

5. その他

(1) 控え場所はスタンド及び芝生席とする（それ以外は禁止とする）

(2) スタンド下通路及び室内練習場付近の選手控場所設置は禁止する。

(3) 競技場（練習場も含む）に商社名、商品名のついたものを持ち込むことはできない。

詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規定」に準じる。

(4) 記録の証明を希望する競技者は、記録情報室に300円を添えて申し出をし、30分後に受け取ること。

(5) 抗議申立書は競技規則TR8（国内競技会）によって総務に提出する。

(6) 競技会場内で撮影された競技写真の著作権については、大会主催者に帰属するものとする。

(7) 競技場内での写真撮影は、許可された報道カメラマンのみとする。

(8) 個人情報とは本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用しない。

(9) トラック改修中工事箇所の立ち入りを禁止とする。